第６学年　体育科（生活安全）　　　　　　 　　場所　第一音楽室

病気の予防

　　　指導者　Ｔ１担任　藤田　晶子

　　　　　　Ｔ２養護教諭　髙野　紗希

**１　単元の目標**

・病気の予防について、病気の発生要因や予防の方法について理解できるようにする。

・健康・安全の大切さに気付き、自己や他者の健康の保持増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。

**２　新学習指導要領との関連**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| ・病気の発生要因や予防の方法が分かる。  ・人々の病気を予防するために地域で様々な活動が行われていることが分かる。 | ・病気の予防について自己の課題を見付け、その解決に向けて考え、人に伝える。 | ・自己の健康の大切さを認識し、健康の保持増進や回復等に主体的に取組み、健康で豊かな生活を営もうとする。 |

**３　単元について**

病気の予防では、病気の起こり方や予防の方法について取り扱う。その中で地域の様々な保健活動について触れ、人々の健康や安全を守るために様々な施設や活動があることを学習する。自分の健康や安全が周りの人に支えられて成り立っているものであることに気付かせ、健康・命の大切さを実感させたい。

また、発展として地域の一員として「自分にも何かできる」と考えて行動できる児童を育成したい。そこで本時では緊急時の対応を取り上げる。活動を取り入れることで実際に行動できる力を身に付けさせるとともに、中学校での保健学習につなげる。

**４　安全教育の視点に迫るための手だて**

・ティームティーチングにより、養護教諭の専門性を生かし児童の理解を深める。

・一人につき一つの模型を用いることで、児童が主体的に活動できるようにする。

・総合的な学習の時間・理科と関連付け、横断的な学習活動として安全教育に取り組む。

**５　指導計画（８時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○主な学習活動 | ◎指導上の留意点　■評価  ☆安全教育の視点に立った留意点 |
| １ | ○病気の起こり方について理解する。 | ◎自分の経験を想起させる。  ■病気の起こり方に関心をもち、話合いをしようとしている。 |
| ２ | ○病原体と病気について知る。 | ◎感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや、病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることを押さえる。  ■感染症の予防方法とその理由を考え、本時の内容を踏まえ表現している。 |
| ３  ４ | ○生活の仕方と病気について考える。  ○がんについて知る。 | ◎日々の生活が健康に繋がっていることを捉える。  ■生活習慣病を予防するには、健康な生活を身に付けることの必要であると理解している。  ◎がんについての正しい知識を押さえる。  ■がんという病気について理解したことを言ったり書いたりしている。 |
| ５ | ○喫煙・飲酒の害について知る。 | ☆喫煙・飲酒が法律で禁止されている理由を押さえる。  ■喫煙・飲酒と健康との関連に興味をもち、身近な取組について考えている。 |
| ６ | ○薬物乱用の害について知る。 | ☆本所警察署と連携する。（薬物乱用防止教室）  ■薬物乱用は心や体の健康に大きな害を及ぼすことがわかっている。 |
| ７ | ○地域のさまざまな保健活動について知る。 | ☆健康を守るための施設や活動について押さえる。  ■人々の健康を守るために、さまざまな施設や活動があることを理解している。 |
| ８  (本時) | ○緊急時の対応の仕方や心肺蘇生の行い方を知る。 | ☆周囲の人に助けや協力を求めることも、救命の大切な行為の一つであることを押さえる。  ■自分にできる救命方法について、まとめることができる。 |

**６　本時の展開 （８／８）**

**（１）ねらい**

　　緊急時の対応の仕方を知り、自分に何ができるのかを考える。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動  ・予想される児童の反応 | ◎教科の留意点　■評価（評価方法）  ☆安全教育の視点に立った留意点 |
| ○総合的な学習の時間での学習を想起し、地域にあるＡＥＤの場所を確認する。  　・学校  　・病院  　・相撲部屋　等  ○ＡＥＤの機能について確認する。  緊急時の対応について学ぼう  ○救命が必要な場合についてイメージし、自分にできることを考える。  ・大人を呼ぶ。  ・119番に通報する。  ・ＡＥＤを取りに行く。  ・ＡＥＤの場所を教える。  ○ＤＶＤの指導内容に従って心肺蘇生とＡＥＤについて、実技を交えながら学ぶ。    心臓突然死について知る  　胸骨圧迫（心臓マッサージ）の仕方を学ぶ  　　ＡＥＤの使い方とＡＥＤを用いた救命措置  　　の仕方を学ぶ  ○本時の学習で学んだことを書く。  ○専門家の話を聞く。 | ☆総合的な学習の時間で調べた地域のＡＥＤ設置場所のマップを掲示し確認する。  ◎地域には健康と安全を守るためにＡＥＤが設置されていることを理解できるようにする。  ◎ＡＥＤを使用することにより救命率が上がること、回復が早まることを押さえる。  ◎地域の一員として自分にもできることがあると考えられるようにする。  ☆具体的な場面を設定することで、自分の事として考えられるようにする。  ☆周囲の人に助けや協力を求めることも、救命の大切な行為の一つであることを押さえる。  ■自分にできることを考えている。【思・判・表】（発表）  ○ＤＶＤを視聴し、ポイントを視覚的に押さえる。  ○模型をもとに一人一人実技が行えるようにする。  ○ＡＥＤについては、概略を押さえるようにする。  ■自分にできる救命方法について、まとめることができる。【学び】（ワークシート）  ☆心肺蘇生とＡＥＤともに、救命に関する手だてであるので、普段の生活で遊び半分に行うことではないことを押さえる。 |